

環境配慮型屋上防水層保護仕上材

## HPトップ®.NEWシリーズ

ゴムシート防水用水系高耐候1液反応硬化形 アクリルシリコン樹脂塗料

HPシリコントップ.P

水系アクリル樹脂塗料 (ペイントタイプ)

HPトップ.PA

塩化ビニル樹脂系防水シート塗替用  
水系高耐候1液反応硬化形 アクリルシリコン樹脂塗料

HP塩ビ用シリコントップ.P

水系アクリル樹脂塗料 (骨材入り)

HPトップ.SA

ウレタン防水用水系2液形ウレタン樹脂塗料

アクアウレタントップ.U

水系アクリル樹脂塗料 (細骨材入り)

HPトップ.FSA



建築塗料の総合メーカー


**スズカファイブ株式会社**

# HP TOP NEW SERIES

**HPトップNEW** シリーズは、各種建築用屋上防水層の保護に最適な環境にやさしい水性アクリル樹脂塗料です。防水材の伸縮に追従し密着性に優れた、高い耐候性、耐水性を有する強靱な塗膜は、防水層を長期にわたり保護します。塗膜から溶出する水溶性成分を大幅に低減させましたので、排水のCOD値を抑制し、泡立ちが少ない安心設計です。**各種防水材へ直接塗装可能な高耐候性専用上塗材が新たにラインアップしました。**

**ゴムシート防水用  
水系高耐候1液反応硬化形  
アクリルシリコン樹脂塗料**

**HPシリコントップ.P**

- 骨材を含まない非歩行タイプのみ塗り塗料です。
- ゴムシート、砂付アスファルトへ直接塗装が可能です。アスファルトに対する耐ブリード性に優れ、黄変を抑制します。(その他の防水材についてもブライマーを使用することにより塗装が可能です。)
- 高耐候性の水性1液反応硬化形アクリルシリコン樹脂を使用することにより耐久性に優れた強靱な塗膜が形成され、長期にわたり防水層を保護します。

**塩化ビニル樹脂系防水シート塗替用  
水系高耐候1液反応硬化形  
アクリルシリコン樹脂塗料**

**HP塩ビ用シリコントップ.P**

- 骨材を含まない非歩行タイプの塩ビシート専用つや消し塗料です。
- 塩ビシート専用設計の反応硬化技術により、可塑剤移行を抑制しますので塩ビシートに直接塗装することが可能です。
- 高耐候性の水性1液反応硬化形アクリルシリコン樹脂を使用することにより耐久性に優れた強靱な塗膜が形成され、長期にわたり防水層を保護します。

**ウレタン防水用水系2液形  
ウレタン樹脂塗料**

**アクアウレタントップ.U**

- 骨材を含まない非歩行タイプのみ塗り塗料です。
- 新築・塗替えの各種ウレタン塗膜防水材に直接塗装できます。
- 水性2液反応硬化形ポリウレタン樹脂を使用することにより耐久性に優れ、緻密で強靱な塗膜は、ウレタン防水層への付着性が良好でブリードを抑制するため各種ウレタン塗膜防水材へ直接塗装可能です。
- 下塗を選択することで、ゴムシート、アスファルトシートへの塗装が可能です。

**標準色カラー見本**

**HPシリコントップ.P**

**標準色**

↑グレー

↑シルバークレイ

↑ライトグレー

**HP塩ビ用シリコントップ.P**

**標準色**

↑グレー

↑シルバークレイ

↑ライトグレー

**アクアウレタントップ.U**

**標準色**

↑グレー

↑シルバークレイ

↑ライトグレー

**荷 姿**

**HPシリコントップ.P**

容 量：16kg  
色 相：標準色・白・淡彩色・中彩色

**HP塩ビ用シリコントップ.P**

容 量：16kg  
色 相：標準色・白・淡彩色・中彩色

**アクアウレタントップ.U**

容 量：15kgセット(13:2)  
色 相：標準色・白・淡彩色・中彩色

**施工上の注意事項**

- 〔塗装できない防水層〕
- ・「カラーゴムシート」は付着しないため塗装できません。
  - ・「塩ビシート」はブリードを抑制できない場合がありますので塗装できません。〔HP塩ビ用シリコントップ.P〕をご使用ください。
  - ・「タールウレタン防水材」はタール分を抑制出来ない場合がありますので塗装できません。
  - ・「新設FRP防水材」はパラフィン層があり、付着しないため塗装できません。(改修の場合は表面を目粗し後、アスファルトシーラーを試験塗装後、付着性を必ず確認してから本塗装を行ってください。)
- 知見の無い防水材に塗装する場合は必ず塗装前に予備試験を行い、異常のないことを確かめてからご使用ください。
  - 塗装する前に、被塗面のごみ、油分等を十分に取り除いてください。特に素地がゴムシートの場合、窪みや不陸部分のごみ、花粉、土、泥などが溜まりやすい箇所、塗膜の付着不良によりマッドカーリングと類似の現象を生じる場合がありますので塗装前に十分清掃してください。
  - 5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。低温時には特に乾燥が悪くなりますので、規定量の範囲内で、できるだけ薄く均一に塗布してください。
  - 強風時や降雨、降雪のおそれのある場合は塗装を避けてください。
  - 使用前に十分かくはんし、均一してから塗布してください。かくはんは、出来るだけ泡が混入しないように十分注意してください。
  - HPトップSA、HPトップFSAは重質の骨材が配合されていますので、やむをえず水で希釈(清水で3%以下)する場合は速やかに使い切ってください。骨材が沈降しハードケキになる場合があります。
  - 塗料は一度に厚く塗りすぎると乾燥過程でクラックが発生する場合があります。特にHPトップSA、HPトップFSAは過度の厚塗り避けてください。
  - 塗装用具は、はけ・ローラー・スプレーガン等が使用できます。使用後は乾かないうちに水で洗ってください。
  - 塗装完了後、初期に急激な降雨にあった場合、ドレン部等に泡が発生することがありますが、この泡は塗膜中の界面活性剤によるもので、塗膜の異常によるものではありません。
  - 屋上の雨水がドレンに流れず、直接外壁に流れる構造の場合には、劣化した塗膜粉が外壁を汚染する可能性があるため、外壁の色に近い色目もしくは目立ちにくい色目で塗装してください。
  - 防水層の破断・ふくれ・はがれ・減耗など劣化の著しい場合には、防水層自体の改修を行ってください。
  - カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。弊社仕様以外の仕様による塗膜欠陥には一切責任を負いかねますのでご了承ください。

**使用上の注意事項**

- ①塗料は、密栓して暗所で保管すると共に、凍結させないようにしてください。高温に長期間放置すると、変質し使用できなくなる場合があります。
- ②シルバーには活性な顔料が使用されており、高温になる場所での保管やセメントへの混入は避けてください。反応によりガスが発生する恐れがあります。尚、容器にはガス抜きキャップを使用しておりますので、横倒し、逆さ積みは絶対しないでください。
- ③アスファルトシーラーは溶剤系ですから火気に十分注意してください。塗装用具は作業後速やかにラッカーシンナー等で洗浄してください。缶内への湿気の混入を避け開栓後は速やかに使い切ってください。
- ④捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- ⑤詳細な内容が必要な時は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

ゴムシート防水用水系アクリル樹脂塗料(ペイントタイプ)

非歩行タイプ  
**HPT-ツブ.PA**

- 骨材を含まない非歩行タイプの水性アクリル樹脂つや消し塗料です。
- ゴムシートへ直接塗装が可能です。(その他の防水材についてもプライマーを使用することにより塗装が可能です。)
- 遮熱タイプの設定があります。

ゴムシート防水用水系アクリル樹脂塗料(骨材入り)

軽歩行タイプ  
**HPT-ツブ.SA**

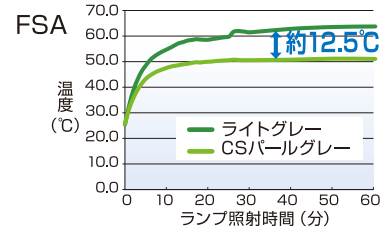
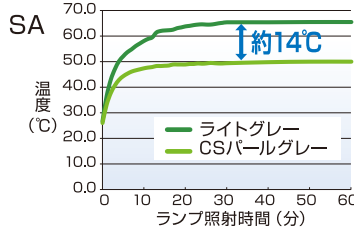
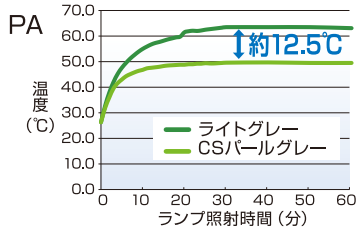
- 骨材を含む軽歩行タイプの水性アクリル樹脂つや消し塗料です。
- ゴムシートへ直接塗装が可能です。(その他の防水材についてもプライマーを使用することにより塗装が可能です。)
- 遮熱タイプの設定があります。

ゴムシート防水用水系アクリル樹脂塗料(細骨材入り)

軽歩行タイプ  
**HPT-ツブ.FSA**

- 細骨材を含む軽歩行タイプの水性アクリル樹脂つや消し塗料です。
- ゴムシートへ直接塗装が可能です。(その他の防水材についてもプライマーを使用することにより塗装が可能です。)
- 遮熱タイプの設定があります。

遮熱性能



標準色カラー見本

**HPT-ツブ.PA**

**HPT-ツブ.SA**

**HPT-ツブ.FSA**

遮熱色



↑CSライトグリーン



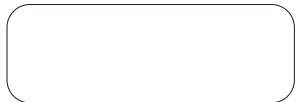
↑CSパールグレー



↑CSスカイグレー



↑CSライトグリーン



↑CSパールグレー



↑CSスカイグレー



↑CSライトグリーン



↑CSパールグレー



↑CSスカイグレー

標準色



↑グリーン



↑グレー



↑シルバーグレー



↑ライトグレー



↑シルバー



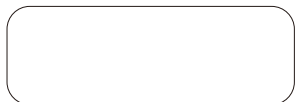
↑グリーン



↑グレー



↑シルバーグレー



↑ライトグレー



↑グリーン



↑グレー



↑シルバーグレー



↑ライトグレー

※色見本は、紙に塗装していますので実際の仕上りと色・つやが多少異なりますのでご了承ください。

調色対応可

注) アスファルトシングルなどの斜壁から直接雨水が壁面に流れる構造の場合、経年劣化塗膜が壁面を汚染する恐れがあります。特に、赤系色については、汚れが目立ちますのでご注意ください。

荷姿

**HPT-ツブ.PA**

容量：15kg  
色相：標準色・白・淡彩色・中彩色

**HPT-ツブ.SA**

容量：18kg  
色相：標準色・白・淡彩色・中彩色

**HPT-ツブ.FSA**

容量：20kg  
色相：標準色・白・淡彩色・中彩色

# 標準施工仕様

## HPシリコントップP

工程	素地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系塗膜防水材料	塩ビシート
素地調整	ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。						
アスファルトシーラー	—	—	—	—	0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×1~2回	0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×1~2回	粘着が生じますので塗装できません。
HPシリコントップP	0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.15~0.25kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×2回	
摘要	※アスファルトシーラー 希 釈：無希釈 塗装間隔：ポリマーセメント系防水材 2時間以上 3日以内 ウレタン防水 塗装用具：ハケ、ローラー、スプレーガン		※HPシリコントップP 希 釈：無希釈 塗装間隔：2時間以上 (23℃) 最終養生：24時間以上 塗装用具：ハケ、ローラー、スプレーガン				

## HP塩ビ用シリコントップP

工程	素地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系塗膜防水材料	塩ビシート
素地調整	ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。						
HP塩ビ用シリコントップP	—	—	—	—	—	—	塗布量： 0.15~0.25kg/m <sup>2</sup> ×2回
摘要	希 釈：無希釈 塗装間隔：3時間以上 (23℃) 最終養生：24時間以上 塗装用具：ハケ、ローラー、スプレーガン						

※素地の表層劣化が著しい場合はアスファルトシーラーを下塗りしてください。

## アクアウレタントップU

工程	素地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系塗膜防水材料	塩ビシート
素地調整	ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。						
アスファルトシーラー	—	注1) 0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×1回	注1) 0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> ×1回	—	注2) —	—	エフロ(白華)を生じますので塗装できません。
アクアボウスイプライマー	0.1~0.15kg/m <sup>2</sup> ×1回	—	—	—	—	—	
アクアウレタントップU	0.12~0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.12~0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.12~0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回	—	
摘要	※アスファルトシーラー 希 釈：無希釈 塗装間隔：3時間以上 3日以内 塗装用具：ハケ、ローラー、スプレーガン		※アクアウレタントップU 希 釈：3~6% 塗装間隔：3時間以上 (23℃) 最終養生：24時間以上 塗装用具：ハケ、ローラー、スプレーガン				

## HPTトップPA

工程	素地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系塗膜防水材料	塩ビシート
素地調整	ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。						
アスファルトシーラー塗り	—	注1) 0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×1回	注1) 0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> ×1回	注3) 0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×1回	—	—	エフロ(白華)を生じますので塗装できません。 ※骨材入りのSA・FSAをご使用ください。
上塗り a.HPトップPAカラー塗りの場合	0.1~0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.2~0.25kg/m <sup>2</sup> ×2回	0.1~0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回	—	—	
b.HPトップPAシルバー塗りの場合	0.15kg/m <sup>2</sup> ×1~2回	—	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> ×1~2回	0.15kg/m <sup>2</sup> ×1~2回	—	—	
摘要	希 釈：無希釈		塗装間隔：2時間以上 (23℃) 最終養生：24時間以上 塗装用具：ハケ、ローラー、スプレーガン				

## HPTトップSA

工程	素地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系塗膜防水材料	塩ビシート	
素地調整	ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。							
アスファルトシーラー塗り	—	注1) 0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×1回	注1) 0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> ×1回	注3) 0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×1回	—	—	粘着が生じますので塗装できません。	
HPトップSA塗り	—	塗布量：0.5~0.75kg/m <sup>2</sup> ×2回						—
摘要	希 釈：清水 0~3%		塗装間隔：3時間以上 (23℃) 最終養生：24時間以上 塗装用具：ハケ、ローラー、スプレー (モルタルガン、リシンガン等)					

## HPTトップFSA

工程	素地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系塗膜防水材料	塩ビシート	
素地調整	ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。							
アスファルトシーラー塗り	—	注1) 0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×1回	注1) 0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> ×1回	注3) 0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> ×1回	—	—	粘着が生じますので塗装できません。	
HPトップFSA塗り	—	塗布量：0.4~0.6kg/m <sup>2</sup> ×2回						—
摘要	希 釈：清水 0~3%		塗装間隔：3時間以上 (23℃) 最終養生：24時間以上 塗装用具：ハケ、ローラー、スプレー (モルタルガン、リシンガン等)					

注1) アスファルト分の溶出、マッドカーリング現象の抑制にアスファルトシーラーを下塗する事を推奨いたします。

注2) 塗装前ウレタン防水層に粘着が生じている場合はアスファルトシーラーを下塗りしてください。

注3) 既存塗膜がウレタン系塗材の場合、アスファルトシーラー塗装時にリフティング等の不具合が発生しないことを事前に確認してから本施工を行ってください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4  
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191  
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255  
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621  
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店



URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

●この見本帳に記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。